

	学期	Keep(うまくいったこと、継続したいこと)	Problem(課題、問題点)	Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策)
A 教 諭	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のクラスの担任の先生と連携を密にし、情報交換を大切にしました。また、私自身が2歳児クラス担任が初めてであるため、保育がスムーズに行くよう補助の先生ともよく話・相談し、情報を共有するようにしました。</li> <li>・手遊び、マグネットシアター、手袋シアターなど、新しいものを出来るだけ取り入れ飽きないようにした。また、他クラスの先生と情報交換をしたため、合同で保育をした際に子どもたちみんなを知っており、盛り上がった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来るだけ、自分でできた！を増やしたい。すぐに手を貸すのではなく、色々な事に挑戦し「出来た」を増やし、達成感を味わってほしい。</li> <li>・日常の保育に余裕を持って、子どもたちが無理なく挑戦出来るようにしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「出来る」を増やして行くには、無理強いや厳しい指導をするのではなく、日常生活の中に、遊びやゲーム、絵本などからヒントをもらい、無理なく進めていきたい。</li> <li>・色々な音に触れて、自分で手作り楽器を作り、楽しみたい。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富蔵の農園に行かせてもらえ、のんびり散策できた事。余裕のある、行きたい時に連れて行ってもらえるのがすごくよかった。体験することで、子どもたちの興味も出て来ている。</li> <li>・出席をとる時に、子どもたちで名前を呼ぶ日を作った。名前を覚える事で「あの子、この子」と言う事が減った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ない事や、新しくする事など、どこまで手を貸すか、悩むことがある。</li> <li>・トイレトレーニングの時期、その子、その子に合わせた時期を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年のおもちつきは急遽、2日間見学させてもらえた。2日目の方が2歳だけだったので、近くでゆっくり見る事が出来たので、2歳だけ別にしてもらえたら、ゆったりおもちつきを体験出来ると思う。</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育をしていく中で、話をしっかり聞けると感じたので、わざと少し難しい話でもするようにした。(例えば、祭日の話など)話の意味が解ってなくても、後から聞いた時に、単語だけでも覚えて言えたら誉めるようにした。話を聞く事、考えて思い出す力がついたと思う。</li> <li>・まだ一人、トイレトレーニング中の子はいませんが、全員パンツで年少に送り出すことが出来た。お母さんと話して、ひとりひとりに合った時期にトレーニング出来た。</li> <li>・毎日の保育の中に、家では経験出来ないような楽しい事を取り入れるよう考えた。幼稚園で経験した事、製作など、家でもしていると聞けてよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期になって自分の思いを言葉で伝えられるようになって来ているので、もう少し遊びやしたい事を、こちらからばかりじゃなく、子ども発信で考えられるようにしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2歳と言う歳でどんな事が出来るか、保育をしていく中での新しい発見が沢山あった。事前に予想していた事でも、良くも悪くも変わる事があった。特に月齢で出来る事、出来ない事が変わってくるので、臨機応変対応できるよう色々なパターンを考えておきたい。</li> </ul>

	学期	Keep(うまくいったこと、継続したいこと)	Problem(課題、問題点)	Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策)
B 教 諭	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達が初めての幼稚園が楽しい、好きと思ってもらったこと(保護者から聞いたり、本人の言動より)</li> <li>引き続き楽しく優しく見守りたい</li> </ul>	言葉が出ない子が3人います。少しでも言葉が出てくるようゆっくり、丁寧に援助してあく。	月齢が早いのもあり、この1学期は子ども同士の繋がりを持てるまでの成長ができた。2学期は個々を見ながらも伸ばせるところを見つけ集団生活の楽しさを味わえるよう設定保育の中に作る(製作)楽しみ、ゲーム遊び等取り入れていきたい。
	2	今のクラスの子どもの理解力や体力を考えて出来るゲーム遊びを取り入れたことで設定が充実できました。	子ども達からしたい遊びを引き出せるよう聞くように心掛けたい	富蔵農園で農作物を見たり収穫したり出来る体験をもっと考えていきたい
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>オムツ卒業頑張りました(97%)</li> <li>自分で朝の身支度できるようになった(100%)</li> <li>みんなの前でクラスと名前を発表出来る(100%)</li> <li>友達と一緒に遊ぶ(99%)</li> </ul>	・低年齢なため知的障害を持つ子どもを見分けるのが難しく観察が常に必要だったことと、保護者に伝える時に保護者の気持ちを汲み取り寄り添うことの難しさを痛感した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障がい、自閉症の子どもを理解出来るよう自分自身引き続き、研修に参加したりや本を読み知識を取り入れる。</li> <li>自由遊びの中での遊びを広げていきたい。子ども達が楽しめる遊びを一緒に遊びつつ導いていきたい。</li> </ul>

	学期	Keep(うまくいったこと、継続したいこと)	Problem(課題、問題点)	Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策)
C 教 諭	1	トイレットレーニングが上手くなりました。ひとりひとりに合った時間の長さでトレーニングしました。夏休みの間に戻らない事を祈ります。	楽器作りをしたかったのですが、上手く時間がとれませんでした。週2日コースさんは、同じく時間がうまくとれず、自由画が出来ませんでした。なるべくみんな、同じ経験をさせたいと思っています。	9月からは、毎日登園する子が増えてくるので経験出来ていないところを補いたいと思います。 昨年より月齢の低いクラスなので、ペースをみながら保育を進めていけたらと思います。
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品展では、お散歩で拾ったものを活用して、作品を製作する事が出来た。テーマ自然が良かった。楽しく取り組めた。</li> <li>・虫とりごっこなど、新しい取り組みに挑戦する事が出来た。繰り返し遊べて良かった。</li> <li>・楽器も手作りに挑戦した。お帰りの時など持って歌ったり活用している。自分の楽器を大切にしている。</li> <li>・製作する時に、自分で好きな素材を選んで作れる様に色々なパターンで出来る様にこれからもしっかり準備をしていきたい。</li> </ul>	・毎回思うことが、地震や火災の時の避難に不安を感じる。お昼寝時はどうなるのか。。	・発表会の時に手作り楽器を持つ予定なので、色々な種類を準備したい。作るだけでなく、音の違いなど気付かせてあげたい。
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人遊びから、集団遊びになる時期だったので、3学期はみんなと一緒に遊べる活動を取り入れる様にしてきた。仲間意識が出来てきて、『おともだち』と遊ぶ楽しさを知る事ができた。</li> <li>・絵本も少し長いストーリーがあるもの、シリーズ化している本を選んで読んできた。次はどうなるの？と楽しめた。</li> </ul>	・言葉数も増えてくると、ケンカなどが増えてきた。上手に仲良く遊べる様に、順番待ちを意識して、声をかけてきた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手作り楽器が、色々な音がでて良かったので、次も続けていきたい。</li> <li>自分で作った物を大事にしている姿もみられて良かった。ただ、ドングリはダメ。日にちがたつと、割れる。</li> <li>・次は、いつもより少し月齢の早いクラスをもつので、様子を見ながら、保育のペースを考えたいと思う。</li> </ul>

	学期	Keep(うまくいったこと、継続したいこと)	Problem(課題、問題点)	Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策)
D 教 諭	1	ジャバラの戸をつけてもらったことにより、安心して保育できるようになりました。 ほぼ男の子のクラスなので、部屋を走ったりすることが多く、ケガをすることが多いので、個人個人に声をかけて、走るのではなく、1.2.1.2.と、歩く練習をしたところみんな喜んで1.2.と、掛け声をかけながら、歩くようになりました。	オムツですが、トイレにいつ出る子もいるので、時間ごとに、声かけをし、オムツでなくトイレで出るようにしていきたいと思う。それに成功して行く子供には、パンツに徐々に履き替えていけたらと思います。男の子のトイレが一つなのが男の子クラスなのでとても、不便です。	二学期より5人増えるので、少人数クラスから賑やかになるのが楽しみです。新しく入ってくる女の子もいるので、注意して配慮しながら保育していきたいと思います。 お外遊びがみんな好きなので、二学期より森のえきにも、挑戦していきたいと思います。
	2	手遊びが大人気で色々な手遊びを教えると、とても喜んで踊ったり歌ったりしていました。これからもたくさん披露して楽しみたいと思います。 仲良しデイ、まだ一回だけですが、他のクラスと混ざり、保育をしていくことにより、ぷりんぐみのお友達だとすこすより、色々な吸収があるかと思いますが、三学期はたくさん仲良しデイしていきたいと思ひます。	三学期8名。 2月3月生まれのみ！ 2学期は、急がずトイレトレーニングをしてきましたが、三学期は人数も減るので強化していきたいとおもいます！	人数も減るので、少人数ならではの保育や、注意することの多い子供に、声かけなどを、丁寧していきたいと思ひます。
	3	二学期までトイレを子供に合わせておむつをとっていきました。一気にとるのではなく、こどもに合わせてお母さんに声をかけてパンツを持ってきてもらうように お願いしました。 園での様子、家での様子を聞きながら、挑戦していき、よかったとおもいます。三学期にはいつからは、失敗もするが成功したら、名札にシールをつけてあげると子供もとても喜び向上心が芽生えました。	コロナの影響で、園閉鎖、学級閉鎖に、なり、三学期は、あつという間に、保育が終わり、少しやり残した感があります。 月水金クラスだということもありますが、年少にあがるまえにやっておきたいことを最後に詰め込みました、もう少し日にちが欲しかったです	ピアノに合わせて歌うだけでなく、お母さんといっしょ、とかの音楽をかけるとみんな、よく知っているの、かけながらみんなで歌うのも楽しくできたのでこれからも増やしていきたいと思ひました。 コロナで、新たな年少ぐみのクラスに分かれての仲良しデーができず子供の様子が見れなかったのが、残念でした。 早く、マスクなしの生活に戻って欲しいです。

	学期	Keep(うまくいったこと、継続したいこと)	Problem(課題、問題点)	Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策)
E 教 諭	1	声かけ、ピアノを使うなど注目して話を聞くことができる環境づくりをしたので、確認のための問いかけをするの的確な答えが返ってきたり、覚えていることが多かった。	一部の子が、外遊びなど遊びには参加しているが、歌やリズムなどの活動に参加することができていないので参加できるようにする。	声かけや、一緒に参加したいと思えるような環境づくりをする。また、他の子ども誘ってもらったりしてその活動が楽しいと思えるようにしていきたい。
	2	同じ遊びばかりになってしまっていたので、今学期は新しい遊びに挑戦してみて、色々な鬼ごっこをしたりじゃんけんゲームをしたりしました。また、自由遊びのときなどはやっぱり好きなお友だち同士で遊ぶことが多いので、クラス全体で関わる時間を作りたいと思いクラスみんなで活動する内容を考えました。鬼ごっこのときは普段関わりのない子同士でタッチし合ったり関わる機会もできてよかったです。今後も色々な遊びをしていきたいです。	活動によっては、したくないと言って参加しない子もいるのでどのようにすると一緒に活動したくなるのか考えていきたいです。	鬼ごっこなどではなく遊びのレパートリーをもっと増やしたいです。だるまさんがころんだもやってみたいです。
	3	クラスのまとまりを感じる事ができた。生活発表会というクラスで一つの行事があったことによってみんなが同じ目標に向かって取り組めたことが大きかったと思う。	活動が変わることの行動や、給食など目立って遅い子は遅いので保育者が声をかけるのも大切だが、お友だち同士で声を掛け合って周りのお友だちよりも遅れていることを知ることも大切だと思うので、早く活動ができるように環境をつくりたい。	他クラスとの関係を作りたい。他のクラスと保育時間が少し違うこともあったりして、外遊びに行く時も1クラスで遊んでいることがほとんどだったので時間を見つけて他クラスと一緒に活動できたらいいなと思う。

学期	Keep(うまくいったこと、継続したいこと)	Problem(課題、問題点)	Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策)
F 教 諭	1 大きな声での返事や歌など、やる気を出す声掛けなどは上手くいき、子どもたちもとても頑張っていたので、継続していきたいです。また、ピアノの音に合わせて歌うということも少し苦手だったのですが、リトミックを頻繁に組み込むことでとても楽しみながらピアノの音を聞く、担任の声を聞くということが出来るようになってきているので、二学期も変わらず頑張っ取り組み、その中で子どもたちの発信した表現なども取り組みながら、興味を持てるような活動をしていきたいです。	カスタネットなど、担任の真似をするという際に、担任を見ることや前を向くということが少し苦手な子どもが多く、声掛けをしているが、上手く興味を引くことが出来ていない。	ただただ前を向く、担任を見るということだけではなく、子ども自身が楽しんで出来るような工夫や声掛けをし、子どもたちから担任や前を見るということに繋げていきたいと思ひます。運動会の練習なども始まってくるので、子どもたちの興味関心を惹き付けられるような声掛けや活動をしていきます。
2	なにかに向かって楽しみながら頑張れるような声掛けが出来たこと。子どもの特性やこうしたほうがこの子には分かりやすい、ということが、補助が減ったため見る機会が増え、その子どもにあった援助の仕方、声掛けの仕方が出来たこと。	合奏やなにかみんなと一緒にするととなるとワンテンポ遅れていたりする子どもへの援助の仕方やずっと目を見て話したり、合奏などをするのが難しい子どもへの伝え方	1対1での会話を増やしたり、集中して見続けられるような工夫や環境を作ったりする。
3	困ったことが言えなかった子どもに対して、「どうしたの?」と聞くばかりではなく、言ってくるのを待つ時間を作りました。どうしても言えない時はこちらから声掛けもしましたが、少し待ち、見守ることで子どもが自分から言いにこれ、待った時間で話すことを整理する時間を設けられたかなと感じました。また、待つ時間の中で私もその子どもがなににどう困っているかななどをより見られたのではないかな?と感じます。	給食を時間内に減らしても食べるが出来ない子どもへの配慮や工夫が難しいなと感じました。一人で完食出来たら褒めて、お手紙を書き、やる気を出させてみたり、一緒に隣でお話しながら促したり、見守ったりと色々な方法は試しましたが、なかなかいいものが見つかりませんでした。	白米しか食べないといった子どもがどのようにすればその他のものを食べれたり、食べなくても興味が出るかを考え、実践していきたいと思ひます。

	学期	Keep(うまくいったこと、継続したいこと)	Problem(課題、問題点)	Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策)
G 教 諭	1	担任が話をする時注目できていない子どもの名前を呼ばず、きちんと注目できている子どもの名前を(〇〇ちゃん素敵、〇〇くんカッコいい)呼んでみんながきちんと話を聞ける環境を作っていく。	振り付けのない歌を歌うとき飽きてしまう子どもがいるので、どうしたら飽きないで最後まできちんと立って歌えるかが課題です。	リズム感がとても良くて初めてするリトミックやカスタネットも一発で全員がきちんと揃ってできるので少し難しいことにも挑戦していきたいです。いまはリトミックでカエルの歌に合わせて動物の真似をしているので応用したのができるように探してみます。
	2	・お話しなど注目してほしいときに毎日一日何回もキラキラお目目No.1選手権をしているうちに子どもたちは自然と腰骨を立てて保育者の方を見れるようになった子が増えました。 ・制服登園になり、ブラウスの襟が自分でするのが難しい子は保育者がするのではなくお友だち同士できるように言葉かけていると、友だちの輪が広がった子やあまり喋ったことのない子にも話しかけていききっかけになっていました。 ・もりの広場でうんていに5秒ぶら下がってからあそんでおいでと言っていたらうんていの楽しさに興味を持った子が増えて、全員うんていにぶら下がる時間が長くなりました。	二学期後半になると喧嘩が増えトラブルが多くなりました。わざとじゃないけど知らないうちに当たってしまったというのが、叩かれたと言ってくるなどがあるので、保育者がしっかり見ておくことと子どもたちときちんと解決できるまで話をするのをこれからも続けていきたいです。	いまでは製作などでハサミや折り紙をきちんとできる子が増えてきたのでもっと細かいことをしてみたいです。ゲームのレパートリーも増やして生活発表会でいっぱいにならないようにしたいです。
	3	一人一人の名前が書いた表を作り頑張ったことや誰かのお手伝いなどを子どもたちの成長につながることをしていたらシールを貼り子どもたちはどんなことにも積極的になり私になにも言っていないなくても行動したりやる気アップしていた。お部屋の床に生活発表会のときに使っていた印を終業式まで貼っていました。それを応用して他の遊びに繋げることができたし、子どもたちもそれを使って自由遊びの時に遊んだらしていた。	シールを貼ってもらうためにみんな何かをしようとして取り合いになったりなどして喧嘩になってしまうときもあった。	シール以外でのやり方で子どもたちの成長に繋がる方法はないかを探していきたいです。雨の日や少しの時間でできるお部屋での遊びのレパートリーを増やしていきたいです。

学期	Keep(うまくいったこと、継続したいこと)	Problem(課題、問題点)	Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策)
H 教 諭	<p>1 今年のクラスは去年のクラスに比べてすごく幼く、また活動に対して参加する子どもが少ないな感じています。そのため様々な活動をするにあたってこのクラスではまず興味を持つことがすごく大切です。話をする時は「お話するよ」と声をかけるだけでは、話を聞こうとする子が少ないので手遊びを多く取り入れ、子どもたちの方を向こうと思えるようにしました。手遊びをすることで子どもたちが話を聞こうとしてくれることも多くなってきました。また活動の導入部分では子どもたちが興味を持てるような話し方を常に意識しながら話し、その反応を見て次に活かすようにしています。朝の会では、歌に参加することが難しい子どもたちが多かったので試行錯誤を重ねた結果、まずは立つことがこの子たちにとっては重要なのだと分かることが出来ました。朝の会を始める時は全員がお茶を飲み終わるのを待ち、まずは座る練習をして保育者と目を合わせてから立つようにしています。最近では全員が立つことが出来ることも増えてきました。これからも続けていきたいです。</p> <p>2 戸外遊びから保育室に戻ってくる際、遊びが楽しくて保育室に戻ることが出来ない子どもたちがいます。1人2人というわけではないので、ある程度までは待つことにしているのですが、先に集まっている子どもたちにとって待つ事は大変なことです。今までは子どもたちと一緒になかなか帰ってこない子どもたちを呼んでいたのですが、それにも飽きてきたので、今までやったことのない手遊びなどで待つことにしました。すると一度集まった子が離れていくことは無くなりましたし、集まらない子も集まってくれるようになりました。これからも続けていきたいです。</p> <p>また、子どもたちが自由遊びでトラブルになった時は、子どもたちのことを思い、二学期からは一度様子を見ることにしています。子どもたちなりに考え、相手と和解しようとしていたり、保育者に声をかけたりしています。四月からの期間で保育者が仲裁に入った際の様子を子どもたちが見て、その経験を活かせる機会を作れたのかなと感じました。泣いたままの子には「○○くん、先生に言いに来てくださいな～」と独り言のように呟くこと、自ら私に声をかけて来てくれることもあります。これからも、子どもが自分で解決しようとする力を大切にしていきたいです。今年度は、昨年度の経験を活かして、絵画の題材を早くに決め、子どもたちの目のつくところに置いておくようにしました。すると子どもたちは、そのものに興味を持ち、よく観察していたように思います。時には私に、「これなに？」と質問することで、子どもたちの中でのそのものの興味の膨らませている様子も見受けられました。その結果、絵画では子どもたちが興味を持ったものを大きく描いたり、他のお友だちが描いていないものを描いている子がいたり、個性豊かなものが仕上がりました。絵画はこれからも子どもたちがそのものについて、興味を持てる時間を作りたいです。</p>	<p>このクラスの今の問題点は2つあります。1つ目は、トイレに行くことや、活動の準備をすることにすごく時間がかかることです。全員でトイレに行く時はお部屋の中で並んでから行くことが多いのですが、並ぶ時にトイレに行きたくない訳ではないのに並ばないお友だちや、並んでから遊んでしまうお友だち、トイレの後遊んでしまうお友だちなどがいて、すごく時間がかかってしまいます。トイレ時は子どもたちが様々なところに行っているのでも声かけも難しいですし、トイレに行く前に声をかけても今はその状態なのでこれから改善出来るように補助の先生と相談していきたいです。2つ目は、1対1で声をかけたり、行動を促す必要があるお友だちが多いことです。全体に声をかけても聞いていないのか動かない子や、給食後の片付けなどをする時にそのまま保育者と1対1で行うか保育者がほとんど手伝って行っている子がたくさんいます。</p> <p>一つ目は、保育に参加するのが難しい子どもたちが遊び始めると他のお友だちが集中出来なくなってしまうことがあることです。保育に参加しない子が遊ぶことで、他のお友だちの集中が切れてしまう様子が見受けられたので、保育に参加するのが難しい子をお部屋から出したり、集中が来ている子と保育を進めることで、参加していない子が遊んでいても、集中出来る子が多くなりましたが、中には遊びに釣られてしまう子もいます。しかし、子どもたちの立場に立つと、なんであの子は遊んでいるの？と思っても仕方ないことです。解決出来るようにしていきたいです。二つ目は、保育に参加するのが難しい子たちについてです。この子たちはすごく意思がはっきりしているので、保育者が言葉を上手く使っても、自分の意思を突き通すところがあります。また、保護者もあまりこちらの言葉を深く受け止めていないところがあるのが現状です。保護者とも上手くコミュニケーションをとりたいです。三つ目は、お昼からの集中力です。子どもたちの疲れもあるのか、午前中は集中出来ていても、お昼からは集中が切れてしまうことが多くあります。発表会のお稽古や、身体も大きくなって、怪我也増えるので、対策していきたいです。</p>	<p>問題点の1つ目に対してですが、一学期も子どもたちが見通しを持てるように事前に次のことを話したりしていたのですが、なかなか結果には繋がらなかったのですが、トイレの場所を変えたり、もう一度話をしっかりするなどしていきたいです。2つ目に対しては、給食の時間の場合は、ごちそうさまをみんなでする前に、その子だけ片付け始めるなどして習慣をとこ身につけていきたいです。補助先生ともよく話し合いたいです。準備などに時間がかかることにも繋がるのですが、二学期はこれ頑張ったら楽しいことが出来るというのを少しずつ分かるようになっていけばいいなと感じています。運動会のお稽古も始まりますし、楽しんでやってほしいのはもちろんのことなのですが、メリハリを少し付けられればいいかなと思います。夏休みの出勤で運動会のダンスを考え、子どもたちが踊っているところを想像するだけでもすごくワクワクするので、子どもたちが楽しみながら運動会に向かってお稽古出来るような環境作りをしていきたいと思っています。</p> <p>一つ目については、私がたくさん褒めることも大切になると思います。現在も、頑張っている子どもたちをたくさん褒めるようにしていて、個人名を出しながら褒めるようにしているのですが、遊びに釣られてしまう子には少しハードルを下げて褒めるようにしたいと思います。また、二学期末に提案して頂いたように、参加しない子どもたちを他の子どもたちの視線が届かないようにすることもしてみたいです。二つ目については、ワクワク感が大切になると思います。二学期のことを踏まえて、三学期から保育に参加出来ない子たちにカードを作ろうと思っています。頑張りカードを作って、何かが出来たらハンコを押したりしたいです。保護者については、どこまで言うかを園長先生や桃田先生と相談して保護者にも、もう少し深く受け止めて貰えるようにしたいです。三つ目については、私が手遊びなどでこちらに集中を向けるのも大切ですが、習慣も大切になると思います。お昼からはかなり集中が切れてしまうので、午前中に集中力を使うことをしていることが多かったのですが、午後にも少しずつ増やしていきたいです。</p>
	<p>3 活動についていくのが難しい子が多かったです。特にトイレを行かない子が多かったです。今までは、トイレにクラスの子を連れて行ったあと、お部屋にいる子に「トイレ行こう！」と声をかけることが多かったのですが、そうすると回答は「いや！」という回答だったので、近くまで行って、自分もしやがみ「トイレ行こう」と声をかけることにしました。それだけではなかなかトイレ行こうとしなかったのですが、「トイレ行って手も綺麗に洗えたらギューしょっか！」と声をかけると「うん！」と嬉しそうに頷いてトイレに行くことが出来ました。ギューを目標にその子は頑張ることが出来ましたし、私としてはギューをするという約束を通してきちんとその子の頑張りを認めることが出来たので、私にとってもその子にとってもいい方法が1つ生まれたと感じました。認めてもらった経験を活かして少しずつトイレに自らいけるようになってほしいです。</p> <p>3学期は、クラス全体での遊びを多く取り入れました。ルール説明では、子どもたちが分かりやすいようにと意識しているのですが、ハンカチ落としでは、まずハンカチを落とされた人が追いかける、置いた人は逃げて空いているところに座るといったところまで教えて、それに慣れた頃に落とされた人が追いかけて置いた人をタッチしたらもう一度鬼というルールを追加で説明しました。分けてルールを説明したのが分かりやすかったようで子どもたちにとって好きはゲームになりました。</p>	<p>お部屋に入って来ない子への対策と叩いてくる子への対策が最後まで分らなかったことです。お部屋に入って来ない子には何度か声をかけ、その日にある活動などを伝えたりするのですが、「いや！」と言って入って来ず、しばらく様子を見てると気づいた頃に自分で保育室に入って来るというパターンが多かったです。その子自身もそれに慣れてしまったのか、登園するとすぐ園庭に行ってしまうことが多く、なにかいい声のかけ方があったのではないかと今でも思っています。叩く子についてですが、その子が素直になれないということは理解していましたが、私から歩み寄り寄ると離れていき、私が他の子と関わっていると近寄り来て叩くのが繰り返してました。クラスである以上その子と関われる時間に限界もあり、すごく難しかったです。</p>	<p>保育室に入らない子には、それに慣れる前になにか改善出来る方法が見いだせばよかったなと思います。慣れたものを変えることは子どもたちにとって難しいことだと思うので、慣れる前になにかに対応していく必要があると思います。反対にそっとしておくことで保育室に入ってこれるのならそれも1つの方法だと捉えられるようになることも必要だと思いました。私自身も変わるようにしたいです。叩く子には、「大好き」や「カッコイイ」などその子認められる言葉かけをしていましたが、もう少し時間が必要だと感じました。来年度は学年も変わり、子どもたちの出来ることも増えると思うので、子どもたちと色々なことにチャレンジしたいです。</p>



	学期	Keep(うまくいったこと、継続したいこと)	Problem(課題、問題点)	Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策)
I 教 諭	1	子ども一人ひとりに伝わりやすい言葉かけの工夫を継続していきたいです。全体に話をするだけではなかなか伝わりづらい子供が多いので、この子にはあまり言葉をかけすぎはいけない、この子には単語で伝えた方がいいなど、今までと同じように補助の先生方と情報を交換し、話し合いながら負担にならない関わり方を試行錯誤していきたいと思っています。	・リズムックや朝の放送のダンスなどの活動にあまり興味を示さない子どもが多いように感じていて、無理矢理にはさせたくないの、参加できる子どもが増える関わり方を見つけていくことが課題点です。2学期からは運動会などの行事があるので、クラスでまとまり、集中力を高めることも必要だと思っています。 ・保護者の方には何かあればすぐに連絡をするようにしていますが、懇談を申し込んでいなかった方などしっかりと関係を築けているのかなあと思うことがあるので、お迎えの時など少しの時間を見つけて自分から積極的に関わっていく方も課題です。	運動会などの行事に向けて、まとまりのあるクラスにしていきたいと思っていますので、皆でゲームをしたり、全員で何かをする楽しさや嬉しさか感じれるようなことに挑戦していきたいです。楽しさが分かれば活動に参加するのが少ない問題も解決していくのかなと思っています。
	2	行事が沢山増えてきてやる事が沢山あったのですが、毎日少しずつ作品を作るなど、子供たちのペースに合わせた活動をしたので、無理なく楽しめていたように感じます。合奏のときも、パートごとに練習する機会を増やしていたので私自身もも焦ることなく、落ち着いた雰囲気の中で子供と関わられたと思います。	一学期に比べるととてもクラスがまとまってきたように感じるのですが、周回などたくさんクラスの集まる時にはどうしても気が散ってしまう様子なので、次は年中組になることをもう一度伝えて少しずつ落ち着いてメリハリをつけて行動できるようにすることが課題かなと思います。	お兄ちゃんやお姉ちゃんになるんだよと伝えると、やる気が見られることが多いのでやる気を引き出しながら過ごしていきたいと思えます。3学期は生活発表会があり、大勢の前で声を出すことが増えてくるので、他のクラスと協力する機会を多く作って大勢になれることをしたいです。
	3	子供が集中しているタイミング例えば朝の挨拶の時などに、重要なことを簡潔に伝えることで、子どももより理解していたように感じます。何かをしている途中の子どもたちにやることを伝えて、聞いてなかったから悪い！と注意するより、集中できる雰囲気を作ることをより意識していました。これからも続けたいです	活動にやる気を出せるようにするのが課題で、難しかったです。集中力が持つのが短いお友達がどうしても多くて、周りの子もつられてしまうことが多かったの、皆が楽しんで参加できやうな方法をもっと考えたんじゃないかなとおもいました。	大まかにじゃなくてももう少し、細かくこの日までにこれをする！と決めていたら良かったのかなと思います。 新たに挑戦したいことは、違う学年でギャップがたくさんあると思うので2年立てばこんなことができるようになるんだと実際に見て感じながら保育することです。

学期	Keep(うまくいったこと、継続したいこと)	Problem(課題、問題点)	Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策)
J 教諭	<p>初めの2ヶ月は毎日バタバタでした。1学期が終わり少しずつクラスがまとまってきたように思います。年中になったらできることがたくさん増え、喧嘩があれば子どもに考えさせるようにしたり、子どもたちからたくさん気持ちを引き出せたり、私も毎日楽しく刺激を受けています。</p> <p>保護者との関係も子どもとの関係も少しずつよくなってきたように思います。毎日楽しいって言ってますって言葉が嬉しく、子どもたちも初めよりたくさん話してくれるようになったし、心を開いてくれるようになってきました。2年目持つ子どもたちはやはりどうい子かわかってるのでやりやすいし、保護者との関係もある程度築けているので話しやすいです。</p> <p>初めは幼稚園嫌だ嫌だと私に対しても怖い感情を抱いていたような子ども、最近は表情がとても明るくなって気持ちをたくさん言ってくれるようになりました。食欲も毎日あってモリモリ食べてくれて良かったなと思います。</p>	<p>Aくんをどうしていったらいいか悩んでいます。この1年間で少しでも成長できるように集団の中で活動できるようにこれから頑張っていきたいです。</p>	<p>2学期は運動会の練習が始まるので、特にパラバルーン、クラスがまとまるよう、BちゃんとCくんも参加できるようにしていきたいです。一人一人がいろんな成長を遂げられるように、毎日楽しいと感じてくれるようにわたしも楽しみながら頑張っていきたいです。</p>
	<p>クラスでいろんな楽しいこと、誰かのすごいこと、反対に、いけないことや悪いこともみんなでたくさん共有しました。最近はないちもんめをクラスみんなでして、そのような考えてみんなで意見をまとめてという遊びもできるようになったのが成長だなあと感じました。子どもたち同士の関わりを見て、子供の中でもいろんなお友達がみんなに優しく、とっても素敵な子どもたちばかりだなと気づくことができました。普段はやんちゃなDちゃんが、誰かが濡れたと言ったら自分からティッシュをその子まで持っているところを見たり、普段はマイペースなEちゃんが、FちゃんやGくんに優しくしていたり、一人一人素敵ないいいところがあるなと感じることができました。</p>	<p>Hくんへの対応はまだまだ課題です。2学期も終わりましたが、なかなか成長させてあげられなかったし、自分自身の対応の仕方も見つけられなかったです。3学期からは年長に向けて1人で頑張るということに少しずつ慣れてほしいです。</p> <p>何をすべきか考えられず、調子を乗ってしまう子がいて、それにつられる子も何人かいるので最近の課題です。</p>	<p>みかん組で楽しい思い出をたくさん作りたいです。お部屋、お外でできるゲームや、みんなでなにかについて楽しく話し合ったり、遊びを通していろんなことを経験させてあげたいです。その中で年長さんになるということも意識づくように声かけしたり、少しやんちゃなお友達への対応も考えていきたいです。</p>
	<p>・子どもたちの自主性を育むこと→子どもたちの中で遊びや話し合いをする機会をたくさん設けることができた。また自分自身の設定保育の幅や子どもたちの楽しませかたが去年より広げることができたと思う。年中さんは話せたりできることも増えるので子供達と一緒にクラスを作っていくことができ、とても楽しかったです</p> <p>・Iくんのお母さんとも少し話し合うことができ、Iくんのこれからのこと考えられたこと→保健所に行きいろいろお話を聞かせてもらったことで子どもが実は言葉を理解できてなくて分からなくて困っていることや言葉掛けの仕方など学ぶことができたので、来年に繋げていきたい</p> <p>・Jちゃんの成長が著しく見られたこと</p> <p>・持ち上がり11人いたので、保護者との関係作りがしやすかったこと</p> <p>・年少からの2年間の成長を感じられたこと→K先生と一緒に一人一人の大きな成長を感じられた</p>	<p>・少し気になる子への対応をはやめにいろいろ試すこと→言葉がけだけじゃなく形にしてみたりもする、何が苦手で何が得意なのかを分析してみる</p>	<p>・来年は2度目の年中なので今年うまく行ったことを使いながら、子どもたちのカラーもあると思うのでそれに対応しながら新たにいろいろなやり方を試してみたい。また、1から保護者との信頼関係作りを頑張りたい</p>

学期	Keep(うまくいったこと、継続したいこと)	Problem(課題、問題点)	Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策)
	<p>1 絵画の時、絵の具の濃さや種類のバリエーションを増やしたりと納得のいく色味を作ることができて子どもたちも色塗りの時など、工夫して色を使う姿が見られた。 子どもたちのご用意の時など、リズムをつけて声掛けすることで子どもたち自身自分でリピートしながらスムーズに用意ができていていると感じる。</p>	<p>子どもとの約束(些細な事だとしても)をきちんと守れてたのか。が課題です。子どもにとっては楽しみにしていたことなど、もしそれが無理になったのならその理由をきちんと子どもにも述べていかないといけないと感じました。これからは、自分の発言にも責任を持って子どもと接しようと思いました。</p>	<p>子どもたちと、ともに楽しいことを考えたり(絵画の題材や普段のあそびの中)して、子ども自身が楽しめる保育をしていきたいです。そして、なんでも先生に聞くのではなく周りを見たり友だちとのコミュニケーションの中で動けるようになること。言いたいことをきちんと口で伝えられるようになること。子ども同士で支え合える仲になること。になるためには、どうしたらいいのか保育者の関わりや声かけが大切になってくるのでそこを考えて保育をしていきます。</p>
K 教 諭	<p>2 作品展で、子どもたちも楽しんで作品が作れるように、DVDを観てどんなものが出てくるのかみたり、絵本を読んだり、話のストーリーを理解する事でクラス全体で美女と野獣という、作品を理解して考えて作れたなど強く感じます。これからも、導入を大切に子どもがのめり込めるような導入の仕方や声掛けを継続したいと考えました。 又、制作の研修で作品の作り方や、保育者が準備しないといけないもの、環境構成(ゴミが作品かわからなくなるので近くにゴミ箱を設置など)を学んだのでそれを実際に取り入れられたので子どもがスムーズにとりかかれたので、これからも継続したい</p>	<p>今後の課題は歌の指導です。どうしても”大きな声”と声掛けすると怒鳴ってしまう子どもがたくさんいて、”優しく”と声掛けすると極端に声のボリュームが下がってしまったり、どう声掛けをしたらいいのか分からなかったですが、音楽研修を通じて、上を向いて歌うと怒鳴ってしまうので真っ直ぐみてうたう。や、とにかくその歌を表現できるように子どもがイメージできるように絵を描いたりしてもいいのかなと感じました。今後生かしていきたいと思います。</p>	<p>子どもが、何にでもチャレンジしよう！という精神を育てたい！子どもたちに、できないことなんかない！初めから諦めない！子どもが自分に自信が持てる保育がしたい。 そのために、私は一人一人の良いところを見つけたり、一つ一つ子どもに対して丁寧な言葉かけを意識したり、周りがメラメラ燃え上がるような(負けないぞ！)という気持ち。が働くように、頑張り表を作ったり、縄跳びなどリボンをつけたり、そういう目に見えて嬉しい！だから頑張ろう！という気持ちになれるような工夫して保育をします！！ 最近、子どもたちが1学期に比べ言葉数も増えてきたりお友だちとも仲良くなりふざけあう時間が増えたと感じます。そういう時に、私がメリハリをつけてやる時はやる！聞くときは聞く！切り替えができるクラスにしていくことが今の課題です。 来年、学年が変わると知ってさらに楽しみになりました！</p>
	<p>3 3学期では、縄跳びをほとんどの子どもが必死になり頑張っていた。頑張り表に名前が増えたりリボンが増えるたびに達成感を味わい自信も持てるようになった。 何かをする時に気が向かない子どもに対して、子どもたち同士のコミュニケーションを大事にしよう「OOだよ。と教えてあげて」など、保育者だけでなく友だちからも声を掛けられることによって、より落ち着いて信頼できる保育者友だちからの声掛けに動こうとする姿が見られた。3学期になった今だからこそ人間関係が築けているなど感じた瞬間でした。これからも継続したいです。</p>	<p>なぜ今これをしなければいけないのか、明確な理由を常に子どもに伝えられる保育者になりたい。乗り気じゃないと感じた時には、今日はやめて、違うことして遊ぼう！などカリキュラムに余裕を持って日々過ごしていけば子どもたちの負担が減ると感じました。楽しく過ごす！けれど、楽しいばかりではなくやらなければいけない時は頑張る！そういうクラスづくりをしたい。</p>	<p>来年の絵画指導では、年少はコンテは無理と紙に書いていましたが、無理なんか。じゃあ違う技法にしよう、すぐに諦めないで1学期は無理でも2学期3学期私の声かけや普段の保育次第では、できる！ことも増える！と信じているので挑戦したい！年少さんだからできない。という言葉を使いたくないので、子どもたちに負担のないように丁寧に指導していきたいです。</p>

学期	Keep(うまくいったこと、継続したいこと)	Problem(課題、問題点)	Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策)
1	言葉について話し合う時間は2学期もつくていきたいとおもいます。6月の論語の意味がお友達の気持ちを考えて行動するということができた。以前ふわふわ言葉チック言葉の絵本を読んだということもあり、毎朝論語の時間に、ふわふわ言葉チック言葉について話し合う時間を設けていました。すると「それはチック言葉だよ」「チック言葉で言ったから〇〇ちゃん泣いてるんちゃん？」など子ども達自身で話し合う姿が見られたり、少しぶつかってしまっただけでお友達に嫌い！と言っていた子も嫌いと言うことはなくなり、痛かったと伝えるようになっていたり、少しずつではありますが「言葉」を意識できるようになってきているのかなと思います。	自分の気持ちを言えないことや給食についてなど子ども一人ひとりの課題に対して、どのように進めていくか関わっていくかなどその子どもに合った方法を見つけられなかったことです。	子ども一人ひとりの課題に対して、1学期には行わなかった方法を試してみて1番その子どもに合う進め方を見つけられるようにすること、絵画製作などの保育内容を今の子どもたちが興味を示していることから決めて取り入れられるようにしたいです。
2	はなまる賞。みんなで何かやりとげられたときに、帰りの会ではなまる賞を発表しています。鉢植えにお花が全部咲いたらお楽しみ会をしようねと言っています。はなまる賞のおかげか、今まですぐに「できない」と投げ出していたお友達も、コツコツと自ら練習して出来るようになるという姿がありました。	1学期に比べると、「嫌い」などははっきりとしたチック言葉を使っているお友達は減りましたが、「違うで、～するんやで」などとお友達同士でお話する時に言い方がきつくなっている場面が多く見られました。	問題点で記入した、言い方がきつく傷ついたということを私には言わずおうちの方にはお話していたことが懇談会で分かりとても反省しました。お部屋を出る際の1人ひとりの挨拶にもう少し時間をかけて、悲しい気持ちのまま帰らないことを徹底したいです。挑戦したいことは、はなまる賞が全部溜まるとお楽しみ会をしようねと約束しているので、お楽しみ会の内容は私だけが考えるのではなく事前に話し合う日を設けて、お友達みんなでその日1日の予定を立てて過ごすということをしてほしいです。
3	2学期挑戦したいと言っていた、子どもたちがやりたい事に沿って保育内容を決めるという事ができました。子どもたちが中心となって予定を決めることで、時間を意識しながら活動できたり、〇〇のために～を頑張ろうなど気持ちのメリハリを今まで以上につけられていたと思います。また、内容を決める過程で初めてグループワーク的なものを行いました。お友達の意見に耳を傾けることを子どもたち自身で意識して行う経験ができたり、普段あまり意見を言わないお友達も自分の気持ちや考えを大人に聞き出されるから言うのではなくお友達に伝えられる経験ができて良かったなと思います。	28人がやりたいと言っていて決まったことが、1人の子どもはやりたくないと言っていました。その子に対して、「先生も一緒にするから大丈夫」と言いましたが、悲しい表情をしていて、これで良かったのかなあと考えさせられました。	子どもたちで予定を決めたことで、自分達で時間を意識しながら活動できていました。今年は3学期の少ししかこういった取り組みが出来なかったので、来年は一日の少しの時間からみんなで予定を決めることを始めて、子どもたちが時間を意識したり、〇〇するために～頑張ろうなどと、気持ちにメリハリをつけられるようになるきっかけになればなと思います。

L  
教  
諭

	学期	Keep(うまくいったこと、継続したいこと)	Problem(課題、問題点)	Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策)
M 教 諭	1	助言していただいたこともあり、時間にゆとりを持って、保育ができた。また、子どもたちがより楽しめる保育ができた。	自ら話すことの少ない子にあまり関わりを持ちに行けなかった。しなといけない時に集中して取り組めない。(切り替えが難しい)	2学期はしたことのないゲームや色々な歌など歌いたい。課題の解決は、自ら話しかけに行くようにする。また、話せるような問いかけを行う。メリハリがつけられるように声かけ、促す。また、前もってすることを伝える。
	2	信頼関係:子どもから話をたくさんしてくれた。子どもの目を見て楽しく会話する。 歌など楽しんで歌う:速度を変えて歌ったり歌い方を変えたりした。	2学期になり物事の途中で他のことに気がとられてしまう子が多いくると感じた。	集中して物事に取り組めるように、導入をしっかりとし”楽しみ！やりたい！”と思えるような声かけをする。  子どもたちがしたいことを一緒に楽しむ。できないこともできるように工夫し考えて少しでもいろんなことに挑戦させてあげる。ポールなど普段触れる機会が少ないものを使った事などに取り組む。
	3	・その都度声かけを行う事で、今何をすべき時か考え行動できるようになった(1,2学期に比べ) ・子どもたちと一緒に物事を楽しむ事は継続したい	劇、新しい事などする時、苦手な子をどう導くか声かけ以外の導き方が課題	・子どもたちがやりたい事は取り入れて一緒に楽しんでやりたい ・普段の子どもの様子を見てその子に合った導き方を見つける

	学期	Keep(うまくいったこと、継続したいこと)	Problem(課題、問題点)	Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策)
N 教 諭	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作物を育てる時にグループに分け水やりの順番など子供たち同士で話し合う機会を設けた。ジャンケンだったり、背の順だつりグループによって違い面白い結果となった。何を育てるかから子供たちで決めたので責任感が強くなり成長していく作物をより楽しみにできた。</li> <li>・子供たち同士でステキなところよかったところなどを発表出来る時間を設けたらゴミを拾ったりスリッパを並べたり友達のためにと自ら何かをするようになった。</li> <li>・天気がいい限り少ない時間でも外遊びに行くようにした。</li> <li>・お泊まり保育コロナ禍で実際に出来たこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作や絵画をする時最初から出来ひんって諦めてしまう子どもがいてるので意欲的に参加出来る様に声をかけたり工夫する</li> <li>・お泊まり保育、実際にやってみるとここは？みたいなどころがあり内容をしっかり把握しとく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リレー、ドッチボール大会優勝！したいので負ける悔しさを感じそれを機にみんなで頑張る。</li> <li>・何でも出来ないって言う前にやってみたい！楽しそう！と子供達が思える気持ちになれるように心掛ける。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会の歌を何曲か歌い好きな方を聞いて決まった曲にしたら歌詞も覚え、大きい声で歌えるようになった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女の子同士のトラブルに気づけなかったこともあるので周りの様子もしっかり伺う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものやりたいって思うことに挑戦すること</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会で子ども達の好きな歌、振り付けをみんなで考えたので楽しく出来た。</li> <li>・ドッチボール、最初は怖くて嫌でやりたくない子とかもいたけど、みんなで協力したら勝てる！とチームワークの話をしたのでやる気に満ち溢れていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級閉鎖などもあり、発表会、卒園式の練習が急遽出来なくなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指せドッチボール大会リレー男女3冠！</li> </ul>

	学期	Keep(うまくいったこと、継続したいこと)	Problem(課題、問題点)	Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策)
○ 教 諭	1	子どもたちの意見を聞いて、何がやりたいか話し合っする保育を意識しました。部屋にたまたま貼ってあったカードを見てやってみたくて言った子が筆頭に編み物がブームになったり、虫とりに夢中になる子、絵本に描いてある折り紙をみんなでしたり、ダンスがしたいと言ったら音楽をかけると決められた振り付けでなく、オリジナルの振りで踊ったりと子どもの長所や好きなことをたくさん発見することができた。	子どもの意見を聞く中で、やりたいことを優先して、話を上手くまとめることができなくなってしまったこともあったので(お泊まり保育のじゃんけん)、子どもたちが出してくれた意見を全部通すのではなく、上手くまとめるのが担任の役割だと思った。	意見を言うのがいつも同じ子どもや普段からよく話す子の子が多いので、クラス全体でみんなが話しやすい空気にするのが大切だと思った。また、すごく優しい友達想いの子が多いクラスなので、「〇〇したよ」と褒められるためにするのではなく、その場面を自分から発見して「こうゆうところが楽しかったね」と沢山声をかけて素敵なところを伸ばしていきたいと思った。
	2	・作品展などで、大阪に関するもの、幼稚園のものなど、子どもの意見を取り入れたこと ・忙しい日も絶対1日1回戸外遊び	子ども主体の保育をする中で、なかなか意見が言えない子の意見の引き出し方の工夫	・子どもたちが話しやすい環境になれるように、保育者から問いかけた意見言う場を多く取り入れる
	3	こどもの意見を聞いて保育できたこと。1年で沢山の遊びを提案してきて、最後2日間の登園日でやりたいことを全部叶えてあげられた。その中で提案してきた遊びがたくさん出てきて、子どもの遊びの引き出しをたくさん作ってあげることの大切さを改めて感じた。	休園が長引いた時に、ご家庭で楽しめたり取り組めるような家庭保育のあり方を考えたい。	年長さんの子どもたちの可能性に驚いたことがたくさんありました。今後も、子どもたちの「やりたい」の気持ちを大切にしたいです。

学期	Keep(うまくいったこと、継続したいこと)	Problem(課題、問題点)	Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策)
1	<p>・今月の振り返りと来月の月案を2日に分けて行った事で、一つ一つの活動に目を向けて各クラスの様子や成長を知れた事が良かったと思いました。今までは過去を振り返らず、突っ走っていて、自分のクラスの現状に目を瞑りながら進めていたなど過去の自分の保育を反省する良い機会にもなりました。</p> <p>・補助の先生方に平等に休憩を取ってもらえるようにフリーで交代して各クラスを回るようにしていました。30分ずつですがその間に子どもたちの様子や先生方とのコミュニケーションもとれて毎日会話を交わす事ができました。</p>	<p>・予想以上に補助の先生方をフルに働いて頂かないといけない状態で、特にひよこ組ではK先生に甘えきっている現状があります。</p> <p>・4月中旬～GWまでの制服登園が子どもたちも先生方にも負担になってるような感じます。1週間程の短い期間だけの間ですが、朝と降園前が大変すぎます。購入していただいてから着る機会が入園式のみで、秋まで保管していただく事になるから…と言う事情も理解していますが、本当に大変です。</p>	<p>・これから運動会のお稽古など、フリーが見ておきたい活動も増えてはきますが、各クラス落ち着いてきていますので、補助の先生方のお休みの際は極力フリーで回していけるようにしていきたいと思います。</p> <p>・季節や行事などに関する設定保育以外の時間に楽しめる遊びや、ハサミを使う活動も増やして行って、時間を有意義に使えるように先生方で情報交換をしていきたいと思います。</p>
P 教 諭	<p>・今月の振り返りと来月の月案を2日間に分けて行っていますが、事前に入力してもらうスタイルに変えると、スムーズ+時短になり1日で済むようになりました。</p> <p>・11月に初めて各クラスの気になる子どもの様子を学年の先生たちで話し合う機会を設けました。職員間での情報の共有と、課題に対して意見交換ができ、とてもプラスになったと思います。</p> <p>・作品展の廃品を頼む際、年少のみ必要なものを個数指定し伝えたところ多く集まりすぎず、例年よりゴミが少なかった気がしました。</p> <p>・季節の行事など、どのクラスも導入をしっかりと行うようにしました。子どもたちがしっかり理解してから各行事に参加する姿があり、とても良かったと思います。</p> <p>・職員の合奏ですが、得意な楽器を披露する機会は初めての事だったので、吹奏楽部出身の先生方が素敵で子どもたちもとても感動していました。来年も是非続けていきたいです。</p>	<p>・例年は夏休みに台本を書いていたのですが、今年は11月に入ってから取り掛かりました。子どもたちの様子を感じ取ったり、子どもたちからの声を引き出せるようにとの事でしたが、行事が続く時期にはしんどかったのでは…と思います。</p> <p>・絵画ですが、同じ技法・同じ色の画用紙を使って何種類か描いているクラスがありました。作品展前に困らないように、1学期から伝えてきていましたが、もっと突っ込んで絵画の題材選びから寄り添わないといけなかったと反省しています。</p>	<p>・1月は補助の先生方が各クラスに入って頂きながら劇のお稽古をしていく予定です。昨年と違い、各クラスそれぞれの台本を準備していますので、フレッシュチームの年少担任で補助の先生方の方が経験値が高く色々気になる部分も多いと思うのですが『担任の想い』をそのまま表現できるように補助の先生方にはサポートを徹してもらえるようフリーからお願いしようと思います。</p> <p>・気になる子どもの様子を話し合う会ですが、次回からは嶋田先生にも入って頂き、助言を受けながら継続していきたいと思います。</p> <p>・12月に嶋田先生に研修していただいた時間がとても感慨深く、勉強になりました。伝えた事が人によって捉え方が違うことを目の当たりにし、子どもへの声掛け・保護者対応・後輩への指導…今日までの自分はどうだったかを振り返る良い機会になりました。もし時間が許されるなら定期的に研修をしていただきたいと思いました。</p>
3	<p>・月案、振り返りに時間をとって行ったことで、先生方の意識が統一されて保育を進められたと思います。</p> <p>・各クラス楽しかったことや、やって良かったことなど保育のアイデアを伝え合いました。先生方も素直に受け入れ、すぐ実践できていたので、嬉しかったです。</p>	<p>・配慮が必要な子への関わり方や、情報交換の場が補助の先生</p>	<p>・次年度は補助に入っていた先生が多いので、コミュニケーションを取れる場を設けられるようにスケジュールを組みたいと思います。</p> <p>・年少はトイレトレーニングの期間がどのクラスも長かったので、次年度は洗濯にかかる時間を短縮したいです。排泄に失敗した時の方法を先生方で統一したいと思います。</p> <p>・今年度は年少freeと言う立場で主に年少組との関わりが多かったのですが、次年度は色々なクラスの様子を見て、良いところを沢山見つけていきたいと思います。</p>